



# なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和4年4月27日 第1号(19-54)

発行責任者: 校長 関田 誠

『大宮中精神: 優しさをもって、夢や目標に挑戦する若者であれ!』

## 4/6 (火) 一学期始業式式辞 『今に生きる! 一学期にしよう』

いよいよ新しい学年が始まりました。今皆さんの胸には、新たな気持ちで、新鮮な風が流れているでしょう。そんな皆さんに、私の好きな短い詩を贈ります。

『大切なのは

かつてでもなく これからでもない  
一呼吸 一呼吸の 今である』

坂村真民

私たちはよく、「前に(かつて)〇〇をやりました」「これから〇〇をやりまします」と言います。『かつてやりました』は、過去の話です。『これから』とは『未来』。「これからやりまします」は、本当にやるのかどうかは別の話です。『一呼吸 一呼吸』している今

この瞬間の『時』に、何をしているかが大切だと言っています。私は人生でもう一つ大切なことは、『場所』だと思います。例えば「ここじゃだめだ。別の場所だったらできるのに」という言葉をどう思いますか? 私たちは『ここ』で何ができるか、『ここ』でやっているか、が大切です。

要するに、人は『今』と『ここ』にいる瞬間が頑張りどころなのです。私たちの人生は、『今』と『ここ』の繰り返しであり、積み重ねだということを、この詩は語っているのだと思います。坂村真民さんという詩人の、この詩のタイトルは何だと思えますか? 答えは『今』。

皆さんの今日の『今』と『ここ』は、これから一年間の新しいクラスで、担任の先生や仲間と出会った出発の日です。どういう気持ちでいますか?(このクラスで良かった~。百点満点。) 逆に(隣のクラスの方が良さそう。あの友達と離れて残念。) 色々な思いが渦巻くのは人間だから当然です。いずれの場合も、こうした気持ちは、『自分がまわりに対して求める期待』から生まれるものです。しかし一番大切なことは、『自分自身に何を求めるか?』です。皆さん自身が、

「今 ここで 一生懸命頑張る」こと、「仲間と何ができるか」です。そういう気持ちの人で満ちている新しいクラス、新二年生であり新三年生であってください。これからの一年間を、充実して感動があり達成感の残る『今』と『ここ』にしてください。あれこれ言い訳し、逃げている『今』と『ここ』であってはなりません。これを四月の最初に皆さんに求めます。ぜひ応えてください。

最後に、明日は入学式です。しっかりした態度で新入生を迎え、一年生の不安や心配を和らげてあげてください。そして、新入生にとって、毎日を生き生きしている皆さんの姿が、憧れの先輩になるように応援しつつ、始業式の挨拶といたします。また、今年度から、杉並区の中学校でも男女混合名簿を導入しました。ジェンダーフリー(レス)の時代の流れです。入学式も新入生は男女混合で入場します。皆さんも男女混合出席簿となるため、色々変わることがあると思います。慣れていってください。😊



By 燈子

## 4月保護者会 校長挨拶 R4.4.16(土)

この四月からの二週間余りに世の中の出来事で感じたことです。学校を卒業して就職した若者が、例年になく組織になじめず行き詰まる数が多いという報道に、先日触れました。日く、コロナ禍でリモート授業がほとんどで、サークルやコンパもなかった環境と一変して、毎日会社でたくさんの人と接するのがとても苦痛。また、リモート授業はパジャマでも受けられたが、毎朝起きてきちんとした服装で出社するのは大変等が理由だそうです。この二年間、『コロナ禍の中でも教育活動は止めない』が杉並区の方針でした。今となっては大正解だったのだと思います。他の自治体が「できない、中止」を次々と決める中で、大宮中では様々な制限を乗り越えながら、「どうやったらできるか？」という発想で、区の新型コロナのガイドラインに沿って、授業、学校行事、部活動、宿泊行事を進めてきました。その結果、たくさんの生徒の笑顔を見ることができました。今年度も生徒の成長を加速する達成感が残り感動のある場の提供を続けてまいります。

もう一つは、先日プロ野球でプロ三年目の20歳のロッテの佐々木朗希投手が、28年ぶりに完全試合を達成する報に触れて仰天しました。佐々木投手は、高校三年生の夏の甲子園の岩手県大会の決勝に、監督の方針で怪我を避けるために準決勝からの連投を許されず、チームは敗退。当時大きな賛否を巻き起こしました。監督は佐々木選手の先を見据えた将来のために、投げさせない判断をしました。大宮中での教育活動の視点として、直ぐに成果を求めず長い目で先を見据えて、生徒を育てるために必要な活動を行うことの大切さを、あらためて教わった気がしています。

今年度のキーワードは、入学式や集会で生徒にも話しましたが、シンプルに『伸びてゆけ われらが宮』です。一年間で様々な面で、お子様が伸びていく大宮中学校を、教職員一同で目指します。応援をよろしく願います。



By 燈子

### 【新型コロナ対応】

- 音楽の歌唱指導は、十分な換気と距離をとってマスクを着けての歌唱指導を再開しました。
- 保健体育では、熱中症の恐れがある場合は、マスクを外すことも可ですので、授業者の判断で、着用する、外す場面をメリハリをつけて行っています。無理に外させることはしません。
- 部活動は現状、最大平日2時間、土日は3時間、週5日の活動を確保していきます。ただし、緊急事態宣言、まんぼう等が再発令された場合は、制限を検討します。これもメリハリです。
- 区のガイドラインで、生徒のマスクは不織布マスクを推奨です。ご協力をお願いします。

男女混合名簿・・・今年度から出席簿等の名簿作成に混合名簿を、区内中学校で導入しました。入学式も新入生の並びは混合となりました。ジェンダーフリーの流れの中の在り方です。昨年度から新入生向けの標準服のあり方も、男子用、女子用ではなく、A型、B型という表示で性別による服装の選択ではなくなっています。

### 【今年度の宿泊行事】

- フレンドシップスクールは一泊二日で実施、河口湖方面です。昨年度は日帰り実施でした。
- スキー教室(1/30~2/1)、修学旅行(9/5~7)で実施します。
- C組の連合宿泊行事は、夏、冬とも二泊三日で実施予定です。

### 【タブレットPC】

全校生徒に貸与されるタブレットPCについてです。新入生については、4/18に配られました。各家庭で実機が収まる収納ケースを用意して、3年間大切に扱ってまいります。百均では2~300円から購入できるようです。もっとしっかりした物でも構いません。できる限り傷をつけたり破損のないようにお願いします。なお、破損した状況によっては、修理にかかる費用の区への弁済もあります。ご理解ください。

※保護者会当日、wifi環境が悪くリモート中継が乱れましたことをお詫び申し上げます。

4

7(木)

## 第76回 入学式

桜の花の咲き誇る春の青空の下、61名の新生を迎えて入学式を挙行了しました。今回も地域のご来賓の出席は叶いませんでしたが、2・3年生の在校生は参列して式を実施することができました。

新入生代表風間條太郎さんが、「コロナ禍の中で学んだことを大切にしながら、中学校生活三年間を助け合って充実させたい」と、立派に誓ってくれました。在校生代表の三瀬暖乃さんの歓迎の言葉で、「DOノートの活用、勉強や部活動を主体的に取り組むこと、大宮中の運動会や音楽発表会が充実しています」と優しく語りかけ、二人の言葉により体育館の空間を温かい雰囲気満たし、式を静かに盛り上げてくれました。最後に校歌を歌って閉式となりました。



3

23(火)

第2回 OEGG  
(1, 2学年)

OEGG(大宮イングリッシュグローバルゲートウェイ)は、12月に続き2回目の取り組みです。今回は、東京大学大学院工学系研究科同会基盤専攻の英語の達人な留学生を、9名招くことができました。留学生のホストファミリープログラムコーディネーターの赤池あゆみ様と神田外語大学の三宅泰子先生の尽力で実現しました。

1、2年生とも学級ごとに、英語でグループワークや一对一の対話をし、日常の授業で学んだ英語を使って、会話に挑戦していました。今年度から始まる都立入試のスピーキングテストに向けて、英語の力を磨く時間となりました。

4

16(土)

## キャリアデザイン講座

働く人の話を聴く会(2学年)  
卒業生の話を聴く会(3学年)

今年度から外部講師をお招きして、中学生が夢や目標を考える機会をつくる時間、『キャリアデザイン講座』を開講します。

3年生は、今年卒業した高校一年生のOB、OGを招いて、これからの進路選びに向けて、中三時代の勉強の仕方やテストの受け方、生活習慣の作り方等のホットな話題を聴きました。生徒は真剣な表情で耳を傾け、質問も積極的に行っていました。

2年生は『働く人の話を聴く会』を実施しました。税理士の濱路義朗氏、鍼灸院経営者の南波利宗氏、弁護士の川端克俊氏、旅行会社勤務の加賀山拓朗氏、システムエンジニア経営者の中島征也氏、元金融機関勤務の黒澤秀樹氏の6名の方が、仕事の内容、やりがいや楽しさ、苦労等に熱弁を振るってくださいました。



土曜日学校の英語講座『おちゅうワールド』も開講しました。ぜひ参加してね!

